公益財団法人 生存科学研究所

第12回 生存科学シンポジウム

AI時代における生存の倫理



2027年
1月11日(月・祝)
14:00～17:00
オンライン開催

参加費 無料
どなたでも参加できます

科学技術の急速な発展によって生み出されてきた人工産物、なかでも極めて象徴的なAI（人工知能）が、最近、世界的にも、人間の生存、人間の尊厳を脅かし、従来の生命倫理、生存倫理の前提を根本から揺るがす事態となり、大きな社会問題となってきています。
そのような事態にあたって、人工産物を生み出してきた工学、あるいは科学技術のあるべき姿を前提とした普遍的な新たな倫理が必要となってきました。
今回のシンポジウムでは、とくにAI時代における事態を目前にして、さらに工学倫理問題を深めて討議していきたいと思います。多くの方々のご参加を期待しております。

プログラム

司会　丸井　英二

14:00-14:10	開会の挨拶とシンポジウムの趣旨説明	生存科学研究所理事長（東京大学名誉教授）　松下　正明
14:10-14:40	人新世の新たな倫理・教育・健康 －AIと人間の本質的な違いを前提として－	東京大学先端科学技術研究センターフェロー/ボードメンバー　小泉　英明
14:40-15:10	超人工知能（SAI）との付き合い方と規制	東京科学大学 総合研究院 教授　中島　義和
15:10-15:40	AI時代の民主主義と人権	東京大学 社会科学研究所 教授　宇野　重規
15:40-16:10	生死の意味が変わる？	東京大学・国際基督教大学名誉教授　村上陽一郎
16:10-16:25	休憩	
16:25-16:55	パネルディスカッション	座長　松下　正明・小泉　英明
16:25-16:55	閉会の挨拶	生存科学研究所副理事長（人間総合科学大学大学院教授）丸井　英二

申し込みフォーム

https://zoom.us/webinar/register/WN_kjQl38Z1QnKGvuU0MWkTwA#/registration

主催: 公益財団法人生存科学研究所　お問合せ: office@seizon.or.jp